

登録コード	L1120100	開講年度	2026				
担当教員	三谷 尚澄 他			副担当	篠原 成彦		
授業科目	哲学・思想論概論						
英文授業名	Introduction to Philosophy						
授業タイトル	西洋思想入門						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限
講義室	共通教育4 2 講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加わらぬ対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			・代表的な哲学の問題と真剣に向き合うことを通じて、常識的思考が陥りがちな硬直状態を抜け出し、虚心にことの真相を突きとめようとする視点・態度を獲得する。			
	【2022年度以前加わらぬ対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			・代表的な哲学の問題を批判的に検討することを通じて、他者の受け売りではない自分独自の思考を練り上げることができるようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加わらぬ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			・代表的な哲学の問題と真剣に向き合うことを通じて、常識的思考が陥りがちな硬直状態を抜け出し、虚心にことの真相を突きとめようとする視点・態度を獲得する。 ・代表的な哲学の問題を批判的に検討することを通じて、他者の受け売りではない自分独自の思考を練り上げることができるようになる。			
授業で学べる「テーマ」	キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	授業の前半では、i)「コスモポリタニズム」という大テーマを導きの糸に採用しつつ、ii)現代社会におけるさまざまな倫理的・政治的問題を取り上げると共に、iii)価値・道徳・文化・アイデンティティ・他者への善意といった倫理学上の主要概念に関する考察を行う。 授業の後半では、「心」、「因果」、「自由」など、哲学的・思想史的に重要な問題を取り上げる。原則として、入門・概説レベルの内容を講義形式で紹介する。 (＊なお、第1回は対面、第2回から第8回はオンライン/オンデマンド、第9回から第15回は対面の変則的な開講形態で授業が行われるので注意すること。)						
授業計画	第1回：ガイダンス〔対面〕 第2回：「コスモポリタンの思想」は死んだのだろうか？（三谷）〔オンライン/オンデマンド〕 第3回：「対話」と「共生」の倫理学を始めてみる（三谷）〔オンライン/オンデマンド〕 第4回：「普遍的道徳」なんて存在するのだろうか？（三谷）〔オンライン/オンデマンド〕 第5回：倫理において「原則」は役に立つのだろうか？（三谷）〔オンライン/オンデマンド〕 第6回：文化的純粋主義に反対し、「混交/混ぜこぜ」を称賛する（三谷）〔オンライン/オンデマンド〕 第7回：宗教的原理主義者たちの何が問題か（三谷）〔オンライン/オンデマンド〕 第8回：「見知らぬ他者たち」は道徳的に重要なのだろうか？（三谷）〔オンライン/オンデマンド〕 第9回：物心二元論と物理主義（篠原） 第10回：エネルギー保存則と物理現象の因果的閉包性（篠原） 第11回：クオリア（篠原） 第12回：相互作用的二元論、並行論、随伴現象説（篠原） 第13回：物心二元論のゆくえ（篠原） 第14回：物理主義と自由（篠原） 第15回：自由と罪（篠原）/ 授業アンケート 定期試験(レポート及び課題)						
成績評価の方法	前半についてのまとめレポート（5割）と後半の授業で与えられる小テスト形式の課題（5割）をあわせて、[1] 授業で扱った哲学的・思想史的問題についての理解、[2] 論理的・批判的に問題を吟味・検討する能力、[3] 問題を明瞭に整理して伝達する能力を総合的に評価する。						
成績評価の基準	レポート課題および小テスト形式の課題に対し、(i)適切なまとめと建設的かつ説得的な論点が記述できていれば「卓越している」。(ii)適切なまとめと説得的な論点が記述できていれば「かなり上にある」。(iii)整合的なまとめと十分に妥当な論点が記述できていれば「やや上にある」。(iv)瑕疵のないまとめと妥当性の認められる論点が記述されていれば「水準にある」。						
事前事後学習の内容	配布された資料を熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。また、授業で取り上げられたテーマについて自分なりに熟慮し、仲間たちと議論することで、ひろく「大学で人文学を学ぶことの意味」について考えを深める。						
履修上の注意	講義科目であるが、配布される資料を授業外の時間においてもみずから繰り返し読み、考える、という態度が受講者には要求される。（なお、上述の通り、第2回から第8回はオンライン/オンデマンド、第9回から第15回は対面の変則的な開講形態で授業が行われるので注意すること。）						
質問、相談への対応	下記のオフィスアワーに対応する。						

質問、相談への対応	三谷 火曜日12:15～13:15 篠原 木曜日14:40～16:10
教科書	原則として、以下のテキストを各自で入手するようにしてください。 *クワメ・アンソニー・アッピア『コスモポリタニズム／「違いを越えた交流と対話」の倫理』、みすず書房、2022年
参考書	戸田山和久『哲学入門』、筑摩書房、2014年